

災市町村より支援要請があったときは、これに応じるものとする」と規定。

関係事業者との協定等：社団法人全日本冠婚葬祭互助協会と「災害時における柩及び葬祭用品の供給等の協力に関する協定書」並びに全日本葬祭業協同組合連合会、社団法人全国霊柩自動車協会との上記協定書を締結し、「棺及び葬祭用品の供給」等の協力要請を行うことを規定。

○被災市町村は、遺体の取扱について次の措置を講ずるものとする。遺体の保存のために必要な物資の調達。このことによる措置を講ずることが困難である場合、被災市町村は、県に支援要請することができる。県は協定締結先である「葬祭事業協同組合及び全日本葬祭業協同組合連合会」「社団法人全日本冠婚葬祭互助教会」に対し応援協力の依頼をする。

○「市町村は、災害時における資器材の確保のため、必要に応じて、葬祭業者、霊柩車運行業者等の関係事業者又は関係団体との協定の締結等措置を講じておくものとする」としている。

被災市町村だけでは迅速な対応が不可能となった場合には県の調整が必要と考えており、市町村からの要請に基づいて対応できる体制を整えるため、県においては葬祭関係3団体と「災害時における葬祭用品の供給及び遺体の搬送等に関する協定」を締結している。これにより、棺及び葬祭用品の供給、ドライアイスの供給、遺体の安置施設の提供、遺体の搬送の業務、その他必要とする事項について必要が生じた場合は、これらの団体に対し協力要請をすることとなっている。

○民間事業者と協定締結をしている。

○市町、火葬場設置者は平時において、必要な資器材の確保に必要な措置に努める。

被災市町から要請があった場合、関係団体等への応援・協力要請を行う。

○市町村は、災害時等に備え、骨つぼ、棺及び遺体保存剤を確保する等必要な措置を講じておくものとしている。

県は、平成18年に、県葬祭事業協同組合、社団法人全日本冠婚葬祭互助協会、県経済農業協同組合連合会、ドライアイスメーカー会及び全日本ドライアイスディーラー会と、災害時等における葬祭用品の供給について、それぞれ協定を締結している。

(3-5) その他の説明及び遺族の理解を得る方法など

○相談窓口を設置し、遺族の感情を十分考慮したうえで遺族に説明する。

○計画上特に記載なし

○市町村は相談窓口を設置し、情報提供及び火葬の受付を行う。その際、遺体搬送における遺族の同乗制限等について遺族の感情を十分考慮した上で遺族への説明を行う。

関係事業者との協定：なし

○市町村は、火葬場までの遺体搬送における遺族の同乗制限や吊いの方法、焼骨の受渡し方法などについて、遺族の感情を十分考慮した上で遺族等への説明を行う。

○被災市町村は、相談窓口を設置し、広域火葬に係る情報提供を行うものとする。また、相談窓口において火葬の申込を受ける。

○被災市町村は火葬に係る相談窓口を設置し、広域火葬について情報提供及び火葬の受付を行うものとし、その際火葬場への火葬依頼の制限、火葬場までの遺体搬送におけ

る遺族の同乗制限、焼骨の受け渡し方法等について遺族の感情を十分考慮した上で説明を行うこととしている。また、遺体安置所から遺体引き取りを希望する遺族には、非常事態のため火葬が可能な火葬場が限定されていること、当該火葬場までの搬送が交通規制等のために困難であること等を説明し、遺体安置所から火葬場に直接遺体を搬送することについて同意を得るよう努めることとしている。

- 広域火葬計画においては、死者に対する礼を失することなく、遺体を適切に取り扱い、被災者感情を十分考慮する旨のみ定めている。
- 各市町の業務となる。各市町は防災訓練等において想定訓練を行うように努めている。
- 計画では「被災市町村は、広域火葬を円滑に実施するために相談窓口を設置し、広域火葬に係る情報提供を行うものとする。」と規定。
関係事業者との協定等：各市町村にて対応。
- 応援市町村は、県の割り振りに基づき、遺体安置所に安置されている遺体及び遺族が保管している遺体について、火葬場の割り振りを行い、遺族に遺体搬送についての同意を得ることに努めるとともに、応援市町村等と火葬の実施方法について調整を行う。
- 基本方針として、「県、市町村及び火葬場設置者は、広域火葬が必要となった場合は、この計画に基づき広域火葬を実施するとともに、遺体の取扱いについては、死者又はその家族に対して礼を失することのないよう配慮をすること。」としている。
- 火葬については、遺族の心情に配慮し実施するが、希望の火葬場での火葬が困難な場合については、できるだけ近隣の火葬場を手配できるよう努めるとともに、遺族に対し丁寧な説明により理解を得られるよう努める。
- 広域火葬の実施を決定したときは、市町・県等は住民、関係団体等に周知を行う。また県はテレビ、ラジオ放送等を活用し、県民に広報を行う。
- 被災市町村は、県から火葬場の割振通知があった場合、非常事態のため、火葬が可能な火葬場が限定されていること、当該火葬場までの搬送が交通規制等のため困難であること等に関する遺族への説明及び遺体を割振られた火葬場に直接搬送することに関する遺族からの同意取得を実施するものとしており、遺体の取扱いについては、死者に対する礼を失することなく遺体を適切に取扱うとともに被災感情にも十分考慮して行動するものとしている。

(4) 大災害時の火葬に関する費用負担について

(4-1) 広域火葬計画では、災害救助法に基づく費用負担の範囲について

- ① 規定していない：7
 - ・現在の災害救助法の適用範囲内での運用を想定
 - ・最終的には国の判断によるところがある
 - ・火葬に必要な費用がすべて含まれると考える
 - ・費用弁償は災害救助法の定めるところに従って行う旨のみ定めている
- ② 遺体の搬送及び火葬に係る費用：2
- ③ 県、市町村が関係事業者（協定を結んでいない者も含める）に支払う燃料、資機材、葬祭用品、遺体搬送に係る費用：1

- ④ 火葬場への遺体搬送に要する費用、火葬に要する費用等（棺、骨壺、火葬代、人夫賃、輸送費等）： 1
- ⑤ 遺体の火葬に係る費用すべて。（火葬待ち遺体の保存、運搬、火葬、骨つぼに納骨、骨つぼの保管）： 1
- ⑥ 応援要請事項の範囲： 1
- ⑦ 災害救助法に基づく救助としての埋葬に係る費用： 1
- ⑧ 災害救助法及び国民保護法の定めるところまで： 1

(4-2) 今後はどこまで災害救助法で費用負担すべきか、例として、火葬炉の過負荷使用に伴う急速劣化の補填（補修費用）、非常時運転に伴う関係事業者への追加補償費用などについて

- ① 広域火葬に係ること全てについて災害救助法で負担すべき： 7
- ② 広域火葬にかかる遺体の搬送費用（搬送要員雇上費を含む。）： 1
- ③ 東日本大震災における事例などを参照の上、検討すべき： 2
- ④ 地域防災計画の中で検討： 1

(5) 大規模災害時に、国に対してどのような対応を望むか

- ① 広域火葬に対しては、国がその指針を示し、国の責務及び支援を明確にすべき： 1 3
- ② 国が東日本大震災を踏まえた対応方法について明確にすべき： 1
- ③ 他県との火葬調整、用品や人員調達等は国が一括して対応すべき： 1
- ④ 国は、定期的に火葬場の情報を調査整備し、市町村に提供すべき： 0

資料5：第5章 想定最大死亡者数に対応する火葬能力検討

1. 想定最大死亡者数に関する基本データ（表-1 参照）

① 火葬場数	1,521	施設	（日本環境斎苑協会資料）
② 火葬炉数	5,376	基	（日本環境斎苑協会資料）
③ 自然死者数	1,299,136	人	（平成23年、厚生労働省資料）
④ 大規模災害死者数	15,882	人	（東日本大震災、警察庁発表 平成25年3月11日現在）
⑤ 自然死者数最大	1,669,000	人	（平成52年、人口問題研究所推計）
⑥ 大規模災害推計最大死者数	323,300	人	（内閣府中央防災会議資料）

2. 推計方法

（1）東日本大震災における遺体発生数と経過日数の近似式は

$$y = -1.6144x^2 + 209.99x + 8136.2 \quad R^2 = 0.9996 \quad (\text{表-2 参照})$$

（2）（1）の近似式による経過日数ごとの遺体発生率を算出し、南海トラフ地震における10～60日の遺体発生数を想定する。

（3）最悪条件として、自然死が最大となる平成52年（2040年）に南海トラフ地震が起きたと仮定し、自然死遺体と被災遺体を合計する。（表-3 参照）

（4）各火葬場のすべての火葬炉を対象として、火葬場の火葬能力を求める。（表-4、5 参照）

$$1 \text{ 日の火葬場の火葬能力} = \text{火葬炉基数} \times \text{火葬回数 (回転数)}$$

3. 推計結果

（1）遺体数に対する火葬能力（処理率）（表-6 参照）

処理率が100%以下の場合、「火葬能力が足りている」とする。処理率が100%を上回る場合、「火葬能力が足りない」とする。

最大想定遺体数に対して各火葬場で一律2～6回転（すべての火葬炉で1日1炉2～6回火葬）とした場合の処理率は、全国合計で10日後に5回転で100%を下回る。20日後では4回転で100%を下回り、30日後では3回転で100%を下回る。

各都道府県別にみると、静岡県、愛知県、三重県、和歌山県、徳島県、愛媛県、高知県、大分県、宮崎県においては、10日後に火葬炉6回転で対応しても火葬能力が足りないとなっている。

（2）全国あるいは隣接都府県で支援火葬する場合のシミュレーション（表-7～9 参照）

① 全国の全施設で5回転運転すれば火葬能力が足りていることとなる。全国一律4回転運転では715炉不足となり、3回転運転では1,791炉が不足する。

② （1）で示した火葬能力の不足が顕著な件について隣接都府県が支援火葬する場合を検討する。この場合、発災後10日間、すべての施設で5回転運転を行うと仮定する。

ア. できるだけ近接した範囲で支援した場合

（ア）関東圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）

南海トラフ地震遺体数が他圏より少ないため、発災後10日間、5回転運転で十分に火葬能力が足りている。

（イ）静岡圏（山梨県、長野県、岐阜県、静岡県）

1,045 炉の増設が必要となる。

(ウ) 愛知・三重圏（愛知県、三重県、滋賀県）

498 炉の増設が必要となる。

(エ) 和歌山圏（京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）

支援火葬によって火葬能力が足りていることとなる。

(オ) 四国圏（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）

367 炉の増設が必要となる。

(カ) 宮崎圏（熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県）

212 炉の増設が必要となる。

イ. より広範囲な支援体制とした場合

(ア) 静岡県を関東 7 都県、新潟、山梨、長野の 3 県で支援（関東～静岡圏）

全国で最も被害想定が大きい静岡県を支援火葬するには非常に広い支援体制が必要となる。この場合であっても 522 基の増設が必要である。

(イ) 愛知県、三重県、和歌山県の 3 県を北陸 3 県、岐阜県、関西 5 府県で支援（愛知～関西圏）

愛知県、三重県、和歌山県の 3 県を支援火葬するには、こちらも非常に広い支援体制が必要となる。この場合はかなり支援効果が表れ、78 基の増設に留まる。

(ウ) 徳島県、愛媛県、高知県の 3 県を中国 5 県、香川県で支援

中四国 9 県での支援火葬体制では、かなりの支援効果が見られ、火葬能力が足りている状況となる。

(エ) 大分県、宮崎県の 2 県を九州 5 県で支援

九州 7 県（沖縄県を除く）での支援火葬体制も、かなりの支援効果が見られ、火葬能力が足りている状況となる。

4. 考察

(1) 南海トラフ地震被災地の遺体を全国の全火葬場で、発災後 10 日間支援火葬する場合、全施設が 5 回転すれば火葬能力が足りて、増設の必要はない。しかし、全国のすべての施設が支援火葬することは現実的ではなく、できるだけ隣接の都道府県で支援火葬を行う必要がある。

(2) 被災地周辺地域で支援火葬を行う場合、関東圏、和歌山圏は 10 日間、5 回転運転で火葬能力が足りて、増設の必要はない。その他の 4 区域は増設の必要がある。

(3) (2)の範囲をより広域とし、できるだけ経費が少なくなることを考慮してシミュレーションすると、中四国圏、九州圏では火葬能力が足りている。残り 2 圏では能力が不足し増設が必要となる。

表－１ 想定最大死亡者数に関する基本データ

単位	施設数 施設	火葬炉数 炉	2011（平成23）年度末		2040（平成52）年度		東日本大震 災遺体数 体	南海トラフ地震想 定遺体数 体
			死亡者数 人	比率 %	死亡者数 人	1日当たり 人/日		
全国	1,521	5,376	1,299,136	100.00	1,669,000	4,573	15,882	323,300
北海道	176	441	58,880	4.53	75,643	207	1	
青森	36	88	17,490	1.35	22,469	62	3	
岩手	32	79	19,229	1.48	24,703	68	4,673	
宮城	26	88	27,858	2.14	35,789	98	9,536	
秋田	27	66	15,371	1.18	19,747	54		
山形	26	68	16,025	1.23	20,587	56	2	
福島	26	90	25,187	1.94	32,358	89	1,606	
茨城	31	123	31,454	2.42	40,409	111	24	10
栃木	13	66	21,617	1.66	27,771	76	4	
群馬	19	75	22,250	1.71	28,585	78	1	
埼玉	21	140	60,040	4.62	77,133	211		
千葉	28	149	59,606	4.59	76,576	210	21	1,600
東京	26	182	109,180	8.40	140,264	384	7	1,500
神奈川	20	160	74,846	5.76	96,155	263	4	2,900
新潟	39	131	28,057	2.16	36,045	99		
富山	18	79	13,023	1.00	16,731	46		
石川	14	55	12,130	0.93	15,583	43		
福井	16	56	9,147	0.70	11,751	32		
山梨	13	43	9,969	0.77	12,807	35		400
長野	27	75	25,389	1.95	32,617	89		50
岐阜	56	158	22,149	1.70	28,455	78		200
静岡	37	138	38,993	3.00	50,094	137		109,000
愛知	35	234	63,181	4.86	81,169	222		23,000
三重	57	119	19,719	1.52	25,333	69		43,000
滋賀	16	60	12,180	0.94	15,648	43		500
京都	14	67	25,544	1.97	32,816	90		800
大阪	56	298	87,092	6.70	111,887	307		4,500
兵庫	51	255	53,882	4.15	69,222	190		2,800
奈良	39	105	14,447	1.11	18,560	51		1,700
和歌山	29	94	13,061	1.01	16,779	46		35,000
鳥取	6	25	7,216	0.56	9,270	25		
島根	27	56	9,426	0.73	12,110	33		
岡山	29	115	21,832	1.68	28,048	77		1,200
広島	59	171	29,719	2.29	38,180	105		800
山口	43	120	18,405	1.42	23,645	65		100
徳島	17	53	10,220	0.79	13,130	36		12,000
香川	30	93	11,581	0.89	14,878	41		2,600
愛媛	45	120	17,312	1.33	22,241	61		11,000
高知	14	44	10,122	0.78	13,004	36		25,000
福岡	41	206	48,437	3.73	62,227	170		10
佐賀	17	50	9,983	0.77	12,825	35		
長崎	33	95	17,049	1.31	21,903	60		10
熊本	30	96	20,410	1.57	26,221	72		10
大分	24	75	14,600	1.12	18,757	51		9,300
宮崎	24	110	12,789	0.98	16,430	45		34,000
鹿児島	35	109	21,168	1.63	27,195	75		300
沖縄	23	56	11,871	0.91	15,251	42		10

表-2 東日本大震災における遺体発生状況と南海トラフ地震における想定遺体発生数

	平成23年										平成24年		平成25年
	4月9日	4月16日	4月24日	4月29日	5月8日	5月15日	5月29日	8月14日	9月11日	12月11日	2月22日	3月11日	3月11日
経過日数	29	36	44	49	58	65	79	156	184	275	348	366	731
北海道	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
青森	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
岩手	3,745	3,924	4,121	4,271	4,377	4,427	4,501	4,633	4,656	4,665	4,670	4,671	4,673
宮城	7,868	8,304	8,618	8,768	8,907	8,984	9,121	9,396	9,456	9,505	9,512	9,512	9,536
山形	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
福島	1,201	1,300	1,436	1,472	1,529	1,562	1,583	1,603	1,603	1,605	1,605	1,605	1,606
茨城	22	23	23	23	23	23	23	24	24	24	24	24	24
栃木	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
群馬	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
千葉	18	18	18	19	19	19	19	20	20	20	20	20	21
東京	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
神奈川	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
合計	12,876	13,591	14,238	14,575	14,877	15,037	15,269	15,698	15,781	15,841	15,853	15,854	15,882
遺体発生率	81.07	85.57	89.65	91.77	93.67	94.68	96.14	98.84	99.36	99.74	99.82	99.82	100.00
南海トラフ地震における想定遺体発生数	262,109	276,664	289,834	296,694	302,842	306,099	310,822	319,554	321,244	322,465	322,710	322,730	323,300

南海トラフ地震における近似式による想定遺体発生数

経過日数	10	20	30	40	50	60
東日本大震災における想定遺体数	10,075	11,690	12,983	13,953	14,600	14,924
発生率	63.43	73.61	81.75	87.85	91.93	93.97
南海トラフ地震における想定遺体数	205,084	237,971	264,286	284,028	297,197	303,794

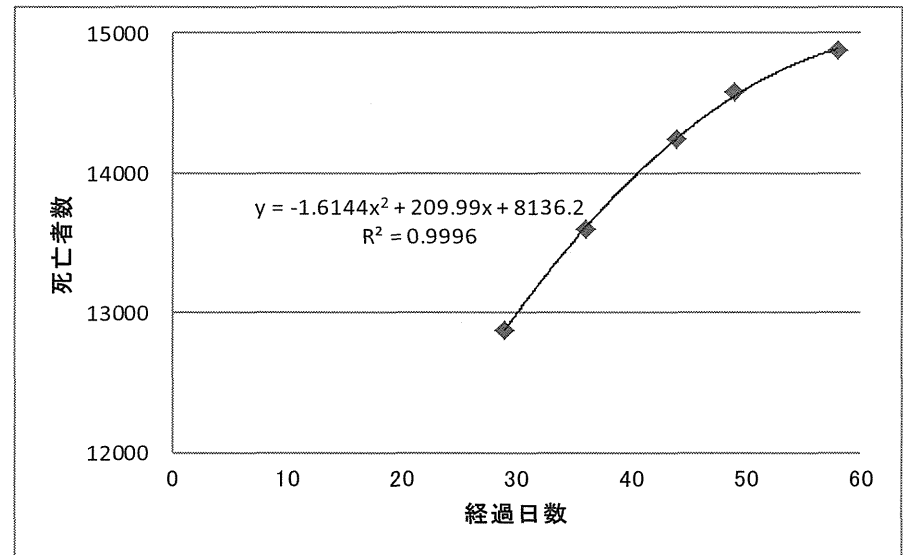


表-3 2040年(自然死最大年)における遺体数と南海トラフ地震による発生遺体数

単位	2040年の10日ごとの遺体数 体	南海トラフ地震後10日ごとの発生遺体数						2040年の遺体数と南海トラフ地震後10日ごとの遺体数の合計						2040年の遺体数と南海トラフ地震後10日ごとの遺体数の累計					
		～10日 体/10日	11～20日 体/10日	21～30日 体/10日	31～40日 体/10日	41～50日 体/10日	51～60日 体/10日	～10日 体/10日	11～20日 体/10日	21～30日 体/10日	31～40日 体/10日	41～50日 体/10日	51～60日 体/10日	～10日 体	11～20日 体	21～30日 体	31～40日 体	41～50日 体	51～60日 体
全国	45,726	205,084	32,887	26,315	19,742	13,169	6,597	250,810	78,613	72,041	65,468	58,895	52,323	250,810	329,423	401,464	466,932	525,827	578,150
北海道	2,072							2,072	2,072	2,072	2,072	2,072	2,072	2,072	4,145	6,217	8,290	10,362	12,434
青森	616							616	616	616	616	616	616	616	1,231	1,847	2,462	3,078	3,694
岩手	677							677	677	677	677	677	677	677	1,354	2,030	2,707	3,384	4,061
宮城	981							981	981	981	981	981	981	981	1,961	2,942	3,922	4,903	5,883
秋田	541							541	541	541	541	541	541	541	1,082	1,623	2,164	2,705	3,246
山形	564							564	564	564	564	564	564	564	1,128	1,692	2,256	2,820	3,384
福島	887							887	887	887	887	887	887	887	1,773	2,660	3,546	4,433	5,319
茨城	1,107	6	1	1	1	0	0	1,113	1,108	1,108	1,108	1,108	1,107	1,113	2,222	3,329	4,437	5,545	6,652
栃木	761							761	761	761	761	761	761	761	1,522	2,283	3,043	3,804	4,565
群馬	783							783	783	783	783	783	783	783	1,566	2,349	3,133	3,916	4,699
埼玉	2,113							2,113	2,113	2,113	2,113	2,113	2,113	2,113	4,226	6,340	8,453	10,566	12,679
千葉	2,098	1,015	163	130	98	65	33	3,113	2,261	2,228	2,196	2,163	2,131	3,113	5,374	7,602	9,798	11,961	14,091
東京	3,843	952	153	122	92	61	31	4,794	3,995	3,965	3,934	3,904	3,873	4,794	8,790	12,755	16,689	20,593	24,467
神奈川	2,634	1,840	295	236	177	118	59	4,474	2,929	2,870	2,811	2,753	2,694	4,474	7,403	10,274	13,085	15,838	18,531
新潟	988							988	988	988	988	988	988	988	1,975	2,963	3,950	4,938	5,925
富山	458							458	458	458	458	458	458	458	917	1,375	1,833	2,292	2,750
石川	427							427	427	427	427	427	427	427	854	1,281	1,708	2,135	2,562
福井	322							322	322	322	322	322	322	322	644	966	1,288	1,610	1,932
山梨	351	254	41	33	24	16	8	605	392	383	375	367	359	605	996	1,380	1,755	2,122	2,481
長野	894	32	5	4	3	2	1	925	899	898	897	896	895	925	1,824	2,722	3,618	4,514	5,409
岐阜	780	127	20	16	12	8	4	906	800	796	792	788	784	906	1,706	2,502	3,294	4,082	4,865
静岡	1,372	69,144	11,088	8,872	6,656	4,440	2,224	70,516	12,460	10,244	8,028	5,812	3,597	70,516	82,976	93,221	101,249	107,062	110,658
愛知	2,224	14,590	2,340	1,872	1,404	937	469	16,814	4,563	4,096	3,628	3,161	2,693	16,814	21,377	25,473	29,101	32,262	34,955
三重	694	27,277	4,374	3,500	2,626	1,752	877	27,971	5,068	4,194	3,320	2,446	1,571	27,971	33,039	37,233	40,553	42,998	44,570
滋賀	429	317	51	41	31	20	10	746	480	469	459	449	439	746	1,225	1,695	2,154	2,603	3,042
京都	899	507	81	65	49	33	16	1,407	980	964	948	932	915	1,407	2,387	3,351	4,299	5,231	6,146
大阪	3,065	2,855	458	366	275	183	92	5,920	3,523	3,432	3,340	3,249	3,157	5,920	9,443	12,875	16,215	19,464	22,621
兵庫	1,896	1,776	285	228	171	114	57	3,673	2,181	2,124	2,067	2,011	1,954	3,673	5,854	7,978	10,046	12,056	14,010
奈良	508	1,078	173	138	104	69	35	1,587	681	647	612	578	543	1,587	2,268	2,915	3,527	4,105	4,648
和歌山	460	22,202	3,560	2,849	2,137	1,426	714	22,662	4,020	3,309	2,597	1,885	1,174	22,662	26,682	29,990	32,587	34,473	35,647
鳥取	254							254	254	254	254	254	254	254	508	762	1,016	1,270	1,524
島根	332							332	332	332	332	332	332	332	664	995	1,327	1,659	1,991
岡山	768	761	122	98	73	49	24	1,530	890	866	842	817	793	1,530	2,420	3,286	4,128	4,945	5,738
広島	1,046	507	81	65	49	33	16	1,554	1,127	1,111	1,095	1,079	1,062	1,554	2,681	3,792	4,887	5,966	7,028
山口	648	63	10	8	6	4	2	711	658	656	654	652	650	711	1,369	2,025	2,679	3,331	3,981
徳島	360	7,612	1,221	977	733	489	245	7,972	1,580	1,336	1,092	849	605	7,972	9,552	10,889	11,981	12,830	13,434
香川	408	1,649	264	212	159	106	53	2,057	672	619	566	514	461	2,057	2,729	3,348	3,915	4,428	4,889
愛媛	609	6,978	1,119	895	672	448	224	7,587	1,728	1,505	1,281	1,057	834	7,587	9,315	10,820	12,101	13,159	13,992
高知	356	15,859	2,543	2,035	1,527	1,018	510	16,215	2,899	2,391	1,883	1,375	866	16,215	19,114	21,505	23,388	24,763	25,629
福岡	1,705	6	1	1	1	0	0	1,711	1,706	1,706	1,705	1,705	1,705	1,711	3,417	5,123	6,828	8,533	10,238
佐賀	351							351	351	351	351	351	351	351	703	1,054	1,405	1,757	2,108
長崎	600	6	1	1	1	0	0	606	601	601	601	600	600	606	1,208	1,808	2,409	3,010	3,610
熊本	718	6	1	1	1	0	0	725	719	719	719	719	719	725	1,444	2,163	2,882	3,601	4,320
大分	514	5,899	946	757	568	379	190	6,413	1,460	1,271	1,082	893	704	6,413	7,873	9,144	10,226	11,119	11,822
宮崎	450	21,568	3,459	2,767	2,076	1,385	694	22,018	3,909	3,218	2,526	1,835	1,144	22,018	25,927	29,144	31,670	33,506	34,649
鹿児島	745	190	31	24	18	12	6	935	776	769	763	757	751	935	1,711	2,480	3,244	4,001	4,752
沖縄	418	6	1	1	1	0	0	424	419	419	418	418	418	424	843	1,262	1,680	2,098	2,516

表-4 全国火葬場の都道府県別火葬炉基数

単位	施設数 施設	火葬炉 基数 炉	1基 施設 施設	2基 施設 施設	3基 施設 施設	4基 施設 施設	5基 施設 施設	6~10基		11基以上		基数 不明 施設
								施設数 施設	炉数 炉	施設数 施設	炉数 炉	
全国	1,521	5,376	290	445	290	169	94	168	1,243	60	937	5
北海道	176	441	52	81	24	6	4	6	39	3	72	0
青森	36	88	6	20	5	2	0	3	19	0	0	0
岩手	32	79	10	11	5	2	3	1	9	0	0	0
宮城	26	88	5	7	6	5	1	1	6	1	20	0
秋田	27	66	6	13	6	1	0	0	0	1	12	0
山形	26	68	5	10	3	6	2	0	0	0	0	0
福島	26	90	2	8	8	3	1	4	31	0	0	0
茨城	31	123	0	6	8	5	7	5	32	0	0	0
栃木	13	66	0	0	4	4	2	2	12	1	16	0
群馬	19	75	4	3	5	1	1	4	29	1	12	0
埼玉	21	140	0	0	1	4	2	13	97	1	14	0
千葉	28	149	0	7	5	4	2	8	63	2	31	0
東京	26	182	5	3	2	1	0	9	76	6	85	0
神奈川	20	160	0	0	3	1	2	9	70	5	67	0
新潟	39	131	5	9	9	9	4	2	13	1	12	0
富山	18	79	1	2	6	2	4	2	17	1	11	0
石川	14	55	0	5	1	5	0	3	22	0	0	0
福井	16	56	3	4	2	2	3	2	16	0	0	0
山梨	13	43	0	6	2	2	1	2	12	0	0	0
長野	27	75	6	5	9	4	2	1	6	0	0	0
岐阜	56	158	15	16	12	6	2	4	26	1	15	0
静岡	37	138	4	8	12	4	4	3	20	2	26	0
愛知	35	234	3	6	4	3	3	12	93	4	87	0
三重	57	119	33	11	5	2	2	3	20	1	11	0
滋賀	16	60	0	5	3	4	1	3	20	0	0	0
京都	14	67	2	3	3	2	2	1	8	1	24	0
大阪	56	298	4	7	10	8	3	15	124	4	79	5
兵庫	51	255	4	7	13	10	4	8	60	5	78	0
奈良	39	105	13	6	10	4	4	2	14	0	0	0
和歌山	29	94	2	12	8	1	3	2	12	1	13	0
鳥取	6	25	0	2	1	1	0	2	14	0	0	0
島根	27	56	11	8	5	2	0	1	6	0	0	0
岡山	29	115	1	14	4	4	2	2	14	2	34	0
広島	59	171	16	23	7	4	3	4	33	2	24	0
山口	43	120	11	17	7	2	2	3	24	1	12	0
徳島	17	53	4	2	6	3	1	1	10	0	0	0
香川	30	93	5	10	7	2	3	2	13	1	11	0
愛媛	45	120	13	18	3	5	2	3	20	1	12	0
高知	14	44	1	7	3	1	0	2	16	0	0	0
福岡	41	206	6	5	11	6	2	6	40	5	83	0
佐賀	17	50	3	6	2	3	2	1	7	0	0	0
長崎	33	95	5	13	8	4	0	2	13	1	11	0
熊本	30	96	2	9	11	7	0	0	0	1	15	0
大分	24	75	8	5	3	5	1	1	9	1	14	0
宮崎	24	110	2	4	6	2	4	4	30	2	24	0
鹿児島	35	109	6	10	10	4	1	3	20	1	12	0
沖縄												

表－５ 全国火葬場の都道府県別火葬能力

単位	1日当たり火葬能力					10日間の火葬能力				
	2回転	3回転	4回転	5回転	6回転	2回転	3回転	4回転	5回転	6回転
	体/日	体/日	体/日	体/日	体/日	体/日	体/日	体/日	体/日	体/日
全国	10,752	16,128	21,504	26,880	32,256	107,520	161,280	215,040	268,800	322,560
北海道	882	1,323	1,764	2,205	2,646	8,820	13,230	17,640	22,050	26,460
青森	176	264	352	440	528	1,760	2,640	3,520	4,400	5,280
岩手	158	237	316	395	474	1,580	2,370	3,160	3,950	4,740
宮城	176	264	352	440	528	1,760	2,640	3,520	4,400	5,280
秋田	132	198	264	330	396	1,320	1,980	2,640	3,300	3,960
山形	136	204	272	340	408	1,360	2,040	2,720	3,400	4,080
福島	180	270	360	450	540	1,800	2,700	3,600	4,500	5,400
茨城	246	369	492	615	738	2,460	3,690	4,920	6,150	7,380
栃木	132	198	264	330	396	1,320	1,980	2,640	3,300	3,960
群馬	150	225	300	375	450	1,500	2,250	3,000	3,750	4,500
埼玉	280	420	560	700	840	2,800	4,200	5,600	7,000	8,400
千葉	298	447	596	745	894	2,980	4,470	5,960	7,450	8,940
東京	364	546	728	910	1,092	3,640	5,460	7,280	9,100	10,920
神奈川	320	480	640	800	960	3,200	4,800	6,400	8,000	9,600
新潟	262	393	524	655	786	2,620	3,930	5,240	6,550	7,860
富山	158	237	316	395	474	1,580	2,370	3,160	3,950	4,740
石川	110	165	220	275	330	1,100	1,650	2,200	2,750	3,300
福井	112	168	224	280	336	1,120	1,680	2,240	2,800	3,360
山梨	86	129	172	215	258	860	1,290	1,720	2,150	2,580
長野	150	225	300	375	450	1,500	2,250	3,000	3,750	4,500
岐阜	316	474	632	790	948	3,160	4,740	6,320	7,900	9,480
静岡	276	414	552	690	828	2,760	4,140	5,520	6,900	8,280
愛知	468	702	936	1,170	1,404	4,680	7,020	9,360	11,700	14,040
三重	238	357	476	595	714	2,380	3,570	4,760	5,950	7,140
滋賀	120	180	240	300	360	1,200	1,800	2,400	3,000	3,600
京都	134	201	268	335	402	1,340	2,010	2,680	3,350	4,020
大阪	596	894	1,192	1,490	1,788	5,960	8,940	11,920	14,900	17,880
兵庫	510	765	1,020	1,275	1,530	5,100	7,650	10,200	12,750	15,300
奈良	210	315	420	525	630	2,100	3,150	4,200	5,250	6,300
和歌山	188	282	376	470	564	1,880	2,820	3,760	4,700	5,640
鳥取	50	75	100	125	150	500	750	1,000	1,250	1,500
島根	112	168	224	280	336	1,120	1,680	2,240	2,800	3,360
岡山	230	345	460	575	690	2,300	3,450	4,600	5,750	6,900
広島	342	513	684	855	1,026	3,420	5,130	6,840	8,550	10,260
山口	240	360	480	600	720	2,400	3,600	4,800	6,000	7,200
徳島	106	159	212	265	318	1,060	1,590	2,120	2,650	3,180
香川	186	279	372	465	558	1,860	2,790	3,720	4,650	5,580
愛媛	240	360	480	600	720	2,400	3,600	4,800	6,000	7,200
高知	88	132	176	220	264	880	1,320	1,760	2,200	2,640
福岡	412	618	824	1,030	1,236	4,120	6,180	8,240	10,300	12,360
佐賀	100	150	200	250	300	1,000	1,500	2,000	2,500	3,000
長崎	190	285	380	475	570	1,900	2,850	3,800	4,750	5,700
熊本	192	288	384	480	576	1,920	2,880	3,840	4,800	5,760
大分	150	225	300	375	450	1,500	2,250	3,000	3,750	4,500
宮崎	220	330	440	550	660	2,200	3,300	4,400	5,500	6,600
鹿児島	218	327	436	545	654	2,180	3,270	4,360	5,450	6,540
沖縄	112	168	224	280	336	1,120	1,680	2,240	2,800	3,360

表－6 自然死最大死者数と南海トラフ地震最大想定死者数の合計に対する火葬能力

経過日数	～10日					11～20日					21～30日				
	2回転	3回転	4回転	5回転	6回転	2回転	3回転	4回転	5回転	6回転	2回転	3回転	4回転	5回転	6回転
単位	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
全国	233.3	155.5	116.6	93.3	77.8	153.2	102.1	76.6	61.3	51.1	124.5	83.0	62.2	49.8	41.5
北海道	23.5	15.7	11.7	9.4	7.8	23.5	15.7	11.7	9.4	7.8	23.5	15.7	11.7	9.4	7.8
青森	35.0	23.3	17.5	14.0	11.7	35.0	23.3	17.5	14.0	11.7	35.0	23.3	17.5	14.0	11.7
岩手	42.8	28.6	21.4	17.1	14.3	42.8	28.6	21.4	17.1	14.3	42.8	28.6	21.4	17.1	14.3
宮城	55.7	37.1	27.9	22.3	18.6	55.7	37.1	27.9	22.3	18.6	55.7	37.1	27.9	22.3	18.6
秋田	41.0	27.3	20.5	16.4	13.7	41.0	27.3	20.5	16.4	13.7	41.0	27.3	20.5	16.4	13.7
山形	41.5	27.6	20.7	16.6	13.8	41.5	27.6	20.7	16.6	13.8	41.5	27.6	20.7	16.6	13.8
福島	49.3	32.8	24.6	19.7	16.4	49.3	32.8	24.6	19.7	16.4	49.3	32.8	24.6	19.7	16.4
茨城	45.3	30.2	22.6	18.1	15.1	45.2	30.1	22.6	18.1	15.1	45.1	30.1	22.6	18.0	15.0
栃木	57.6	38.4	28.8	23.1	19.2	57.6	38.4	28.8	23.1	19.2	57.6	38.4	28.8	23.1	19.2
群馬	52.2	34.8	26.1	20.9	17.4	52.2	34.8	26.1	20.9	17.4	52.2	34.8	26.1	20.9	17.4
埼玉	75.5	50.3	37.7	30.2	25.2	75.5	50.3	37.7	30.2	25.2	75.5	50.3	37.7	30.2	25.2
千葉	104.5	69.6	52.2	41.8	34.8	90.2	60.1	45.1	36.1	30.1	85.0	56.7	42.5	34.0	28.3
東京	131.7	87.8	65.9	52.7	43.9	120.7	80.5	60.4	48.3	40.2	116.8	77.9	58.4	46.7	38.9
神奈川	139.8	93.2	69.9	55.9	46.6	115.7	77.1	57.8	46.3	38.6	107.0	71.3	53.5	42.8	35.7
新潟	37.7	25.1	18.8	15.1	12.6	37.7	25.1	18.8	15.1	12.6	37.7	25.1	18.8	15.1	12.6
富山	29.0	19.3	14.5	11.6	9.7	29.0	19.3	14.5	11.6	9.7	29.0	19.3	14.5	11.6	9.7
石川	38.8	25.9	19.4	15.5	12.9	38.8	25.9	19.4	15.5	12.9	38.8	25.9	19.4	15.5	12.9
福井	28.7	19.2	14.4	11.5	9.6	28.7	19.2	14.4	11.5	9.6	28.7	19.2	14.4	11.5	9.6
山梨	70.3	46.9	35.2	28.1	23.4	57.9	38.6	29.0	23.2	19.3	53.5	35.6	26.7	21.4	17.8
長野	61.7	41.1	30.8	24.7	20.6	60.8	40.5	30.4	24.3	20.3	60.5	40.3	30.2	24.2	20.2
岐阜	28.7	19.1	14.3	11.5	9.6	27.0	18.0	13.5	10.8	9.0	26.4	17.6	13.2	10.6	8.8
静岡	2,554.9	1,703.3	1,277.5	1,022.0	851.6	1,503.2	1,002.1	751.6	601.3	501.1	1,125.9	750.6	562.9	450.3	375.3
愛知	359.3	239.5	179.6	143.7	119.8	228.4	152.3	114.2	91.4	76.1	181.4	121.0	90.7	72.6	60.5
三重	1,175.2	783.5	587.6	470.1	391.7	694.1	462.7	347.0	277.6	231.4	521.5	347.6	260.7	208.6	173.8
滋賀	62.2	41.4	31.1	24.9	20.7	51.1	34.0	25.5	20.4	17.0	47.1	31.4	23.5	18.8	15.7
京都	105.0	70.0	52.5	42.0	35.0	89.1	59.4	44.5	35.6	29.7	83.4	55.6	41.7	33.3	27.8
大阪	99.3	66.2	49.7	39.7	33.1	79.2	52.8	39.6	31.7	26.4	72.0	48.0	36.0	28.8	24.0
兵庫	72.0	48.0	36.0	28.8	24.0	57.4	38.3	28.7	23.0	19.1	52.1	34.8	26.1	20.9	17.4
奈良	75.6	50.4	37.8	30.2	25.2	54.0	36.0	27.0	21.6	18.0	46.3	30.8	23.1	18.5	15.4
和歌山	1,205.4	803.6	602.7	482.2	401.8	709.6	473.1	354.8	283.8	236.5	531.7	354.5	265.9	212.7	177.2
鳥取	50.8	33.9	25.4	20.3	16.9	50.8	33.9	25.4	20.3	16.9	50.8	33.9	25.4	20.3	16.9
島根	29.6	19.7	14.8	11.8	9.9	29.6	19.7	14.8	11.8	9.9	29.6	19.7	14.8	11.8	9.9
岡山	66.5	44.3	33.3	26.6	22.2	52.6	35.1	26.3	21.0	17.5	47.6	31.8	23.8	19.1	15.9
広島	45.4	30.3	22.7	18.2	15.1	39.2	26.1	19.6	15.7	13.1	37.0	24.6	18.5	14.8	12.3
山口	29.6	19.8	14.8	11.9	9.9	28.5	19.0	14.3	11.4	9.5	28.1	18.8	14.1	11.3	9.4
徳島	752.1	501.4	376.0	300.8	250.7	450.6	300.4	225.3	180.2	150.2	342.4	228.3	171.2	137.0	114.1
香川	110.6	73.7	55.3	44.2	36.9	73.4	48.9	36.7	29.3	24.5	60.0	40.0	30.0	24.0	20.0
愛媛	316.1	210.8	158.1	126.5	105.4	194.1	129.4	97.0	77.6	64.7	150.3	100.2	75.1	60.1	50.1
高知	1,842.6	1,228.4	921.3	737.0	614.2	1,086.0	724.0	543.0	434.4	362.0	814.6	543.1	407.3	325.8	271.5
福岡	41.5	27.7	20.8	16.6	13.8	41.5	27.6	20.7	16.6	13.8	41.4	27.6	20.7	16.6	13.8
佐賀	35.1	23.4	17.6	14.1	11.7	35.1	23.4	17.6	14.1	11.7	35.1	23.4	17.6	14.1	11.7
長崎	31.9	21.3	16.0	12.8	10.6	31.8	21.2	15.9	12.7	10.6	31.7	21.2	15.9	12.7	10.6
熊本	37.7	25.2	18.9	15.1	12.6	37.6	25.1	18.8	15.0	12.5	37.6	25.0	18.8	15.0	12.5
大分	427.6	285.0	213.8	171.0	142.5	262.4	175.0	131.2	105.0	87.5	203.2	135.5	101.6	81.3	67.7
宮崎	1,000.8	667.2	500.4	400.3	333.6	589.2	392.8	294.6	235.7	196.4	441.6	294.4	220.8	176.6	147.2
鹿児島	42.9	28.6	21.5	17.2	14.3	39.2	26.2	19.6	15.7	13.1	37.9	25.3	19.0	15.2	12.6
沖縄	37.9	25.2	18.9	15.1	12.6	37.6	25.1	18.8	15.1	12.5	37.5	25.0	18.8	15.0	12.5

表-7 不足能力を全国で支援及び火葬炉増設で対応する場合

【5回転】

	現状		10日後 遺体数	5回転の火葬能力		処理率	1日当たり 不足能力	増設が 必要な 炉数
	施設数	火葬炉数		1日当たり	10日間			
単位	施設	炉	体	体/日	体/10日	%	体分	炉
全国	1,521	5,376	250,810	26,880	268,800	93.3	0	0

【4回転】

	現状		10日後 遺体数	4回転の火葬能力		処理率	1日当たり 不足能力	増設が 必要な 炉数
	施設数	火葬炉数		1日当たり	10日間			
単位	施設	炉	体	体/日	体/10日	%	体分	炉
全国	1,521	5,376	250,810	21,504	215,040	116.6	3,577	715

【3回転】

	現状		10日後 遺体数	3回転の火葬能力		処理率	1日当たり 不足能力	増設が 必要な 炉数
	施設数	火葬炉数		1日当たり	10日間			
単位	施設	炉	体	体/日	体/10日	%	体分	炉
全国	1,521	5,376	250,810	16,128	161,280	155.5	8,953	1,791

表－８ 不足能力を隣接都府県支援及び火葬炉増設で対応する場合（できるだけ近接）

【埼玉、千葉、東京、神奈川】

単位	現状		10日後 遺体数	5回転の火葬能力		処理率	不足 する 能力	増設が 必要な 炉数
	施設数	火葬炉数		1日当たり	10日間			
	施設	炉	体	体/日	体/10日	%	体分	炉
埼玉	21	140	2,113	700	7,000	30.2	0	0
千葉	28	149	3,113	745	7,450	41.8	0	0
東京	26	182	4,794	910	9,100	52.7	0	0
神奈川	20	160	4,474	800	8,000	55.9	0	0
合計	95	631	14,494	3,155	31,550	45.9	0	0

【山梨、長野、岐阜、静岡】

単位	現状		10日後 遺体数	5回転の火葬能力		処理率	1日当たり 不足能力	増設が 必要な 炉数
	施設数	火葬炉数		1日当たり	10日間			
	施設	炉	体	体/日	体/10日	%	体分	炉
山梨	13	43	605	215	2,150	28.1	0	0
長野	27	75	925	375	3,750	24.7	0	0
岐阜	56	158	906	790	7,900	11.5	0	0
静岡	37	138	70,516	690	6,900	1,022.0	6,362	1,272
合計	133	414	72,952	2,070	20,700	352.4	5,225	1,045

【愛知、三重、滋賀】

単位	現状		10日後 遺体数	5回転の火葬能力		処理率	1日当たり 不足能力	増設が 必要な 炉数
	施設数	火葬炉数		1日当たり	10日間			
	施設	炉	体	体/日	体/10日	%	体分	炉
愛知	35	234	16,814	1,170	11,700	143.7	511	102
三重	57	119	27,971	595	5,950	470.1	2,202	440
滋賀	16	60	746	300	3,000	24.9	0	0
合計	108	413	45,530	2,065	20,650	220.5	2,488	498

【京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山】

単位	現状		10日後 遺体数	5回転の火葬能力		処理率	1日当たり 不足能力	増設が 必要な 炉数
	施設数	火葬炉数		1日当たり	10日間			
	施設	炉	体	体/日	体/10日	%	体分	炉
京都	14	67	1,407	335	3,350	42.0	0	0
大阪	56	298	5,920	1,490	14,900	39.7	0	0
兵庫	51	255	3,673	1,275	12,750	28.8	0	0
奈良	39	105	1,587	525	5,250	30.2	0	0
和歌山	29	94	22,662	470	4,700	482.2	1,796	359
合計	189	819	35,248	4,095	40,950	86.1	0	0

【徳島、香川、愛媛、高知】

単位	現状		10日後 遺体数	5回転の火葬能力		処理率	1日当たり 不足能力	増設が 必要な 炉数
	施設数	火葬炉数		1日当たり	10日間			
	施設	炉	体	体/日	体/10日	%	体分	炉
徳島	17	53	7,972	265	2,650	300.8	532	106
香川	30	93	2,057	465	4,650	44.2	0	0
愛媛	45	120	7,587	600	6,000	126.5	159	32
高知	14	44	16,215	220	2,200	737.0	1,401	280
合計	106	310	33,831	1,550	15,500	218.3	1,833	367

【熊本、大分、宮崎、鹿児島】

単位	現状		10日後 遺体数	5回転の火葬能力		処理率	1日当たり 不足能力	増設が 必要な 炉数
	施設数	火葬炉数		1日当たり	10日間			
	施設	炉	体	体/日	体/10日	%	体分	炉
熊本	30	96	725	480	4,800	15.1	0	0
大分	24	75	6,413	375	3,750	171.0	266	53
宮崎	24	110	22,018	550	5,500	400.3	1,652	330
鹿児島	35	109	935	545	5,450	17.2	0	0
合計	113	390	30,091	1,950	19,500	154.3	1,059	212

表-9 不足能力を隣接都府県支援及び火葬炉増設で対応する場合（より広域）

【茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡】

単位	現状		10日後 遺体数	5回転の火葬能力		処理率	不足 する 能力	増設が 必要な 炉数
	施設数	火葬炉数		1日当たり	10日間			
	施設	炉	体	体/日	体/10日	%	体分	炉
茨城	31	123	1,113	615	6,150	18.1	0	0
栃木	13	66	761	330	3,300	23.1	0	0
群馬	19	75	783	375	3,750	20.9	0	0
埼玉	21	140	2,113	700	7,000	30.2	0	0
千葉	28	149	3,113	745	7,450	41.8	0	0
東京	26	182	4,794	910	9,100	52.7	0	0
神奈川	20	160	4,474	800	8,000	55.9	0	0
新潟	39	131	988	655	6,550	15.1	0	0
山梨	13	43	605	215	2,150	28.1	0	0
長野	27	75	925	375	3,750	24.7	0	0
静岡	37	138	70,516	690	6,900	1,022.0	6,362	1,272
合計	274	1,282	90,185	6,410	64,100	140.7	2,609	522

【富山、石川、福井、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山】

単位	現状		10日後 遺体数	5回転の火葬能力		処理率	1日当たり 不足能力	増設が 必要な 炉数
	施設数	火葬炉数		1日当たり	10日間			
	施設	炉	体	体/日	体/10日	%	体分	炉
富山	18	79	458	395	3,950	11.6	0	0
石川	14	55	427	275	2,750	15.5	0	0
福井	16	56	322	280	2,800	11.5	0	0
岐阜	56	158	906	790	7,900	11.5	0	0
愛知	35	234	16,814	1,170	11,700	143.7	511	102
三重	57	119	27,971	595	5,950	470.1	2,202	440
滋賀	16	60	746	300	3,000	24.9	0	0
京都	14	67	1,407	335	3,350	42.0	0	0
大阪	56	298	5,920	1,490	14,900	39.7	0	0
兵庫	51	255	3,673	1,275	12,750	28.8	0	0
奈良	39	105	1,587	525	5,250	30.2	0	0
和歌山	29	94	22,662	470	4,700	482.2	1,796	359
合計	401	1,580	82,892	7,900	79,000	104.9	389	78

【鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知】

単位	現状		10日後 遺体数	5回転の火葬能力		処理率	1日当たり 不足能力	増設が 必要な 炉数
	施設数	火葬炉数		1日当たり	10日間			
	施設	炉	体	体/日	体/10日	%	体分	炉
鳥取	6	25	254	125	1,250	20.3	0	0
島根	27	56	332	280	2,800	11.8	0	0
岡山	29	115	1,530	575	5,750	26.6	0	0
広島	59	171	1,554	855	8,550	18.2	0	0
山口	43	120	711	600	6,000	11.9	0	0
徳島	17	53	7,972	265	2,650	300.8	532	106
香川	30	93	2,057	465	4,650	44.2	0	0
愛媛	45	120	7,587	600	6,000	126.5	159	32
高知	14	44	16,215	220	2,200	737.0	1,401	280
合計	270	797	38,211	3,985	39,850	95.9	0	0

【福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島】

単位	現状		10日後 遺体数	5回転の火葬能力		処理率	1日当たり 不足能力	増設が 必要な 炉数
	施設数	火葬炉数		1日当たり	10日間			
	施設	炉	体	体/日	体/10日	%	体分	炉
福岡	41	206	1,711	1,030	10,300	16.6	0	0
佐賀	17	50	351	250	2,500	14.1	0	0
長崎	33	95	606	475	4,750	12.8	0	0
熊本	30	96	725	480	4,800	15.1	0	0
大分	24	75	6,413	375	3,750	171.0	266	53
宮崎	24	110	22,018	550	5,500	400.3	1,652	330
鹿児島	35	109	935	545	5,450	17.2	0	0
合計	204	741	32,760	3,705	37,050	88.4	0	0

資料6：第6章 炉メーカー等聞き取り内容

1. 炉メーカー聞き取り内容

問1. 平常時は、1日の火葬回数が2～3回ですが、火葬回数を5～8回も行った施設がありました。このような火葬を行うには火葬場（火葬炉）には何が必要ですか。

- ① 運転要員の確保が重要、炉前の作業を葬祭業者が行うことも検討する。
- ② 技術者の確保及び養成
- ③ 予備品(設備の半数量)
- ④ 燃料の確保
- ⑤ 遺体保冷設備（特に離島では必要）
- ⑥ 構造が2炉1排気系では4回転、1炉1排気では6回転が可能である。火炉台車の予備があればもっと可能となる。
- ⑦ 傷みの激しい遺体の場合は、バグフィルタに支障が出ることはあるが、1～2か月の酷使なら炉本体は問題ない。

問2. 火葬炉の構造上には、改善したらよいなどの問題はありませんか。

- ① 主燃焼炉・再燃焼炉の耐火物の厚みが高負荷に耐えられる構造が重要。セラミックの使用など。
- ② 火炉台車について、冷却構造を強化する。セラミック構造にする。津波による遺体は水分が多いので(火炉台車に)対策が必要。
- ③ メンテナンススペースの確保、整備しやすい建物構造、1炉1排気系とする。
- ④ 建設時の仕様が1炉1日1～3回転であるが、最大5～6回転とすれば(さらなる酷使に)耐えられる。
- ⑤ 非常用ではなく常用発電機の設置推進、発電容量をより大きくする。(平常運転ができる)
- ⑥ 仮設電源設置のための受け入れプラグの設置
- ⑦ 可能な限り、燃料を液体燃料から都市ガスにする。
- ⑧ できるだけ汎用部品を使って互換性を持たせる。

問3. 平常時の準備事項など、火葬場に望まれることはありませんか。

- ① 緊急時のマニュアルの整備、連携体制の整備
- ② 発電設備の日常点検をしっかりとやる。
- ③ 災害対応訓練、災害対応火葬スケジュールの検討、立地環境に応じた災害対応の検討、燃料、電気、食料、水の確保、職員との連絡方法の確立など。
- ④ 仮設炉を考える。ストックしておいて災害時に短期間で組み立てるだけ。

問4. 火葬の風習などが、地域によって異なっていますがこのようなことについて業者としてお考えを聞かせてください。

- ① 広域火葬をする場合、遺族もその場に立ち会えるようにすべきである。
- ② 葬送行事の簡素化ができるとうい。

問5. 協会では、大規模災害時に備えて火葬場の建設を促進するためには国の補助制度があることが望ましいと考えていますが、業者の立場としてはどう思われますか。

- ① 離島地域に特に補助すべきである。
- ② 古い火葬場の建替えについて、自治体から補助があれば建替えを促進できるという意見がある。ぜひ、補助制度がほしい。
- ③ 災害復旧には補助金は有効である。新設にも構造基準（排出基準も含めて）を定めて補助制度があればよい。
- ④ 補助金があれば施設基準ができる。現状では自主基準で造っているが、火葬大国日本が火葬炉の輸出国になれる。

問6. 東日本大震災では、火葬が滞ったのは1か月程度でした。この間どのような対応をとればよいとお考えですか。

- ① 広域対応では、遺族を含めた輸送手段を確保する。
- ② 災害情報の整理、自治体の協力・意思の疎通、メーカーのバックアップ、連絡体制（手段）の確保
- ③ 柔軟な対応ができる組織。災害対応火葬に対する費用負担がほしい。
- ④ 非常時にどこがどのようにイニシアチブをとるかが最も大事で、意思決定がどこでなされるか、火葬に関する情報がすべて集まるシステムが必要である。県、国、第三者機関等が情報を一元化すべき。葬儀屋が被災したところは市町村の情報が全くなかった。

問7. 業者として火葬場（市町村）への要望がありましたらお聞かせください。

- ① 教育機関を含めた熟練の運転要員の確保が必要である。技術、法定資格、マナー、態度などを含めて。
- ② 自治体の横の連携が必要である。近隣自治体との協力体制、災害情報の共有など。
- ③ 火葬炉の選定を慎重にやるため発注側に専門技術者を担当として配置すべき。

問8. 業者として都道府県または国に対して要望があればお聞かせください。

- ① 災害復旧費の決定が遅く、もっと早い対応が出来たらよい。
- ② 英国の「火葬炉法」のような法律が必要。世界中で火葬率が上がっていく中、世界最高の火葬率を誇る日本の火葬炉は、重要な輸出戦略商品となりうる。その火葬炉がメーカーの自主基準で作られているのでは、外国では買ってくれない。
- ③ 災害対策の補助金は、申請したところとしなかったところがある。

その他の回答(問いにはないがヒヤリングの中で出た意見)

- ① 各自治体で核となる火葬場を持つべき
- ② ある市の例では、被災者の遺体も通常死の遺体も同様に扱い炉の回転がセーブされた。災害時だから扱いをおろそかにするというのは避けたいという判断である。

2. 維持管理業者聞き取り内容

問1. 平常時は、1日の火葬回数が2～3回ですが、火葬回数を5～8回も行った施設がありました。このような火葬を行うには火葬場（火葬炉）には何が必要ですか。

- ① 5回転の実績があるが、炉内台車が膨張して出なくなった。予備台車が必要である。
- ② 不具合の発生に対して対応できる、精通した技術者が必要である。
- ③ 保安部品、消耗品のストックなどが必要である。
- ④ メンテナンス予算、消耗品、人材（要員）の確保、人材ではOBの活用など。

問2. 火葬炉の構造上には、改善したらよいなどの問題はありませんか。

- ① 自動化など設備が高度化すると不具合が生じた場合現場では対応できない。設備の単純・簡素化が必要である。
- ② 炉本体は問題なかったが、燃料系統が破損した。構造を強化する必要がある。
- ③ 連続使用に耐える火葬台車に変更する。連続使用で熱による変形が発生し、使えなくなるので改善が必要である。（現状では1日1炉で5～8回の使用は難しい。）

問3. 平常時の準備事項など、火葬場に望まれることはありませんか。

- ① 広域火葬の準備（訓練）をしてほしい。また、予算の準備も必要である。
- ② 燃料の確保及び非常用発電機の設置、災害想定訓練が必要である。
- ③ 水の確保が必要である。（井戸の確保）

問4. 火葬の風習などが、地域によって異なっていますがこのようなことについて業者としてお考えを聞かせてください。

- ① 風習の違いは、有として対応する。自治体側で把握しマニュアル化する。
- ② 前火葬（火葬後告別式をする）が少しずつ増えてきている。
- ③ 災害時は火葬のみで、通常の収骨はできない。宗教上のことは最小限にしてほしい。

問5. 協会では火葬場建設時に国の補助金支給があればよいと考えていますが、業者としてはどうお考えですか。

- ① 予備の設備、代替燃料設備、発電設備などに補助すべきである。
- ② 補助金は必要である。

問6. 東日本大震災では、火葬が滞ったのは1か月程度でした。この間どのような対応をとればよいとお考えですか。

- ① 一時的な土葬をする。船上での火葬を考える。
- ② 広域火葬連絡網の整備が必要である。

問7. 業者として火葬場（市町村）への要望がありましたらお聞かせください。

- ① 業者選定が金額重視をするため、無理な縮減が行われている。
- ② 施設建設にあたってデザインも大事だが、利用者の利便性、機能重視にしてほしい。
- ③ 指定管理者であるが5年契約で安定雇用の面で不安がある。
- ④ 市と葬祭業者で2カ月に1回程度の情報交換をしている。
- ⑤ 県単位での火葬が必要である。

問 8. 業者として都道府県または国に対して要望があればお聞かせください。

- ① 維持管理経費への補助があればよい。
- ② 炉数などの決定に構成市町村の意見に相違があるので、規格があってそのうえで補助金があれば火葬場の整備が進むのではないか。

その他の意見

- ① 震災後平常時死者数が 2～3 割増加した。仮設住宅での生活などのストレスによると思う。
- ② 炉メーカーとのネットワークを作っている。
- ③ 東日本大震災の教訓は、新しく整備する炉に反映してもらうようにした。
- ④ 料金体系の統一(安い手数料について)などの意見があった。
- ⑤ 東日本大震災の被害で、再燃焼炉のレンガが破損した。予算をとってもらい補修した。電気集じん機のアンカーボルトの破損もあった。その他、当社の管理している施設ではほとんど被害がなかった。
- ⑥ 非常用発電機のメンテナンス不良でトラブルが発生した。発電機などの維持管理が契約に入っていない施設もある。火葬中に電気を落とす訓練をしている。
- ⑦ 阪神淡路震災のとき火葬料が無料だったため、今回の震災で遺体受け入れしても炉等の損傷が発生した場合に修繕補助費が出るかが不明だったため被災遺体の受け入れ対応に懸念があった。

